



8月26日は「火山防災の日」です。

国民の間に広く活動火山対策についての関心と理解を深めるため、8月26日が「火山防災の日」に制定されました。噴火災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山防災情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。「火山防災の日」をひとつのきっかけとして、火山災害に備えておきましょう。

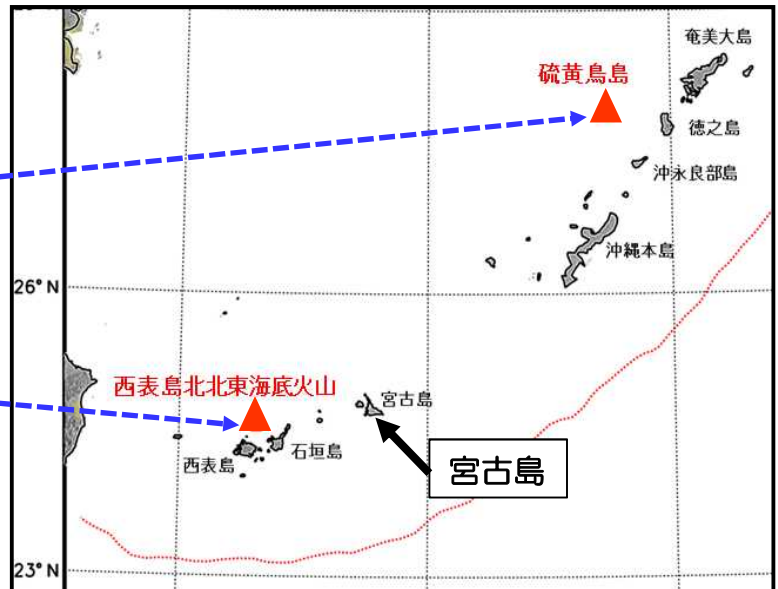
沖縄にある火山

硫黄島島

現在までに9回の噴火の記録がある。1959年の噴火では、島民86人が島外に移住した。

西表島北北東海底火山

1924年10月31日に突如噴火。多量の軽石が排出され、付近の海面一体を埋め尽くし、その後黒潮の流れで日本各地に漂着した。



「火山防災の日」特設サイト

特設サイトに、火山や火山防災について学ぶコンテンツを多数用意しました。8月26日の「火山防災の日」をきっかけに、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えていただければと思います。



<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/kazanbosai/index.html>

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)

